



ふりがな氏名	おおはし ひろみ	都道府県	大阪府	
	大橋 寛実			
所属/肩書	NPO 法人 とよなかESDネットワーク / スタッフ			
私のESD活動	自分のこと×北摂の地域資源×世界…を大事に想って、行動できる人が増えるように、伴走したい			
関心・活動のSDGs				

活動の概要

①NPO 法人 とよなかESDネットワーク(TEN)/スタッフ

団体概要： ビジョン(夢)は『どんな環境にあっても、誇り(自己肯定感/生きる力)を持って生きていける人がたくさんいる』街にすること。ミッション(目的)は『行動を起こせる人を育てる』。そのため、豊中の地域資源を活かしながら、互いに学び合うことができる ESD プログラムの作成や講師派遣、行政との協働事業等を行っている。

活動内容：①日本NPOセンターの主催する、NPO事業評価コーディネーター研修の一環で、プログラム評価に取り組んでいる。定時制高校の生徒の居場所づくりや、若者の就労支援をしている団体の事業評価レポートを作成中。

②豊中市委託事業として、エコな活動に取り組むお店の取材とHPへの掲載。

③豊中市との協働事業。豊中市における「協働の文化」を進めるための仕組みづくり検討会の開催。

④地域の子どもたちの居場所・学習・生活体験の場、「おもろ荘」プロジェクト。

⑤市民大学(とよなか地域創生塾)の講座講師や小中高等学校・大学での出前授業

②箕面こどもの森学園 しぜんの日/ボランティア

団体概要：『子どもは自ら学ぶ意欲をもち、自らの力で学ぶことができる』という教育観に立ち、子どもたちの自立的な学びを支援するオルタナティブ・スクール。

活動内容：月1で「しぜんの日」という日があり、公園や山や川にでかけ、自然遊びをする。

・「NPO 法人 とよなかESDネットワーク」 <http://ten.or.jp/>

・「箕面こどもの森学園」 <http://kodomonon-mori.com/>

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

【私が考える持続可能な社会】

心 * 自分も人も地球も大切に思える。多様な価値観の人と民主的な対話ができる寛容さ、想像力、心のゆとりがある。

暮らし * 自分と家族のための時間がある。SDGs視点のある衣・食・住・エネルギー、仕事、投資をしている。地域の務め(消防団、子ども会、祭)や社会課題解決のための活動をしている。企業・行政 * SDGs視点の事業、政策をしている。

【私の役割】

①子どもたちの伴走者…自分を大切にできたら、人や自然を思いやる気持ちも生まれるのではないのでしょうか。「子どもたちは自ら育つ力がある」と信じて、自己肯定感が育まれる場を作りたい。

②繋げる人…様々な背景を持つ人と人、人と自然、世代と世代を、繋げる役割をしたい。特にNPOの事業の価値を「見える化」し、教育、自然、防災等の大切さを多くの人に共感してもらいたい。そのため私自身がステークホルダー(行政・先生・企業等々)の文化を知りたい。コンファレンスでは、様々な立場でESDに取り組む方々のやり方・考え方を知ることから始めたいと考えている。行政の制度にESD/SDGsマインドを取り入れてもらいたいという野望を抱いている。